

～臨床情報の研究利用に関するお知らせ～

研究課題名：特発性肺線維症の急性増悪に対する抗線維化薬の有用性に関する検討

研究機関名 虎の門_病院

研究責任者 呼吸器センター内科

職位・氏名 医長 宮本篤

【情報の利用目的】

取得した情報は、特発性肺線維症の急性増悪に対する抗線維化薬の有用性に関することを目的とした研究に利用します。急性増悪の発症率は年間 5-15%と報告されており稀ではなく、かつひとたび発症すると発症後の平均生存期間は 2.2 ヶ月とされその予後は極めて不良な、特発性肺線維症の合併症です。本邦におけるコホート研究においても急性増悪は特発性肺線維症の死因のうち最も多くを占めるとされており、急性増悪発症後の治療介入は特発性肺線維症診療において極めて重要な課題です。我々は急性増悪発症後、2 週間以内に抗線維化薬を投与した際の有効性と安全性を後方視的に検討することを目的としたこの研究で得られる成果は、特発性肺線維症急性増悪の治療につながります。

【他機関への提供】

虎の門病院呼吸器センター内科から、東邦大学医学部大森病院呼吸器内科（主幹施設）へ提供します。

【研究に用いられる情報】

情報：病歴、診療の治療歴、副作用等の発生状況、個人情報 等

研究に利用する情報は、患者さんのお名前、住所など、個人を特定できる情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できる情報を報告・公開することはありません。

急性増悪発症後 3 ヶ月、6 か月時点での生存率を急性増悪発症後 2 週間以内に抗線維化薬を投与した群（投与群）と非投与群で比較していきます。

【情報の利用または提供を開始する予定日】

院長許可日より利用を開始します

【研究期間】 2024 年 9 月 26 日～2027 年 3 月 1 日）

【情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名】

虎の門病院 院長 門脇 孝

【情報の取得方法】

対象者：2014 年 3 月 1 日～2024 年 3 月 1 日までに虎の門病院

呼吸器センター内科において、特発性肺線維症急性増悪の診断を受けた方の診療録（カルテ）から抽出したデータを解析します。

【研究組織】

代表施設名：東邦大学医療センター大森病院呼吸器内科 研究代表者： 清水宏繁

役職： 助教

【利用する者の範囲】

東邦大学医療センター大森病院 呼吸器内科

清水宏繁、岸一馬、一色琢磨、坂本晋、鹿子木拓海

自治医科大学呼吸器内科学講座
済生会熊本病院
順天堂大学呼吸器内科学講座
国立病院機構京都医療センター臨床研究センター

山内浩義
阿南圭祐
加藤元康
後藤 禎人

【情報の管理について責任を有する者の名称】

東邦大学医療センター大森病院 呼吸器内科

清水宏繁

国家公務員共済組合連合会虎の門病院 宮本 篤

本研究に関してご質問のある方、情報を研究に利用することを承諾されない方は、20

25年8月1日までに下記へご連絡下さい。申し出のあった方の情報は、利用や他の研

究機関への提供を行いません。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。

【連絡先および担当者】

虎の門病院 呼吸器センター内科 宮本 篤
東京都港区虎ノ門 2-2-2 代表 03-3588-1111